

情報モラル指導モデルカリキュラム表

<大目標・中目標レベル>

分類	L1：小学校1～2年	L2：小学校3～4年	L3：小学校5～6年
1. 情報社会の倫理	a1～3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
	a1-1：約束や決まりを守る	a2-1：相手への影響を考えて行動する	a3-1：他人や社会への影響を考えて行動する
	b1～3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
	b1-1：人の作ったものを大切に する心をもつ	b2-1：自分の情報や他人の情報を大切に する	b3-1：情報にも、自他の権利があることを知り、 尊重する
2. 法の理解と遵守	c2～3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる		
		c2-1：情報の発信や情報をやりとりする 場合のルール・マナーを知り、守る	c3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、 絶対に行わない
			c3-2：「ルールや決まりを守る」ということ の社会的意味を知り、尊重する
			c3-3：契約行為の意味を知り、勝手な 判断で行わない
3. 安全への知恵	d1～3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる		
	d1-1：大人と一緒に使い、危険に 近づかない	d2-1：危険に出合ったときは、大人に 意見を求め、適切に対応する	d3-1：予測される危険の内容が わかり、避ける
	d1-2：不適切な情報に出合わない 環境で利用する	d2-2：不適切な情報に出合った ときは、大人に意見を求め、 適切に対応する	d3-2：不適切な情報であるもの を認識し、対応できる
	e1～3：情報を正しく安全に利用することに努める		
	e1-2：知らない人に、連絡先を 教えない	e2-1：情報には誤ったものもある ことに気づく	e3-1：情報の正確さを判断する 方法を知る
		e2-2：個人の情報は、他人にも らさない	e3-2：自他の個人情報を、第三 者にもらさない
	f1～3：安全や健康を害するような行動を抑制できる		
	f1-1：決められた利用の時間や 約束を守る	f2-1：健康のために利用時間を 決め守る	f3-1：健康を害するような行動 を自制する
		f3-2：人の安全を脅かす行為を 行わない	
4. 情報セキュリティ	g2～3：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る		
		g2-1：認証の重要性を理解し、 正しく利用できる	g3-1：不正使用や不正アクセスさ れないように利用できる
	h3：情報セキュリティの確保の ために、対策・対応がとれる		
		h3-1：情報の破壊や流出を守る 方法を知る	
5. 公共的なネットワーク 社会の構築	i2～3：情報社会の一員として、公共的な意識を持つ		
		i2-1：協力し合ってネットワー クを使う	i3-1：ネットワークは共用のもの であるという意識を持って使う

※コードについて（例，a1-1）

【1桁目の文字】

a～i：大目標項目

【2桁目の数字】

校種・学年（L1～L5）

1：L1（小学校低学年：1～2年生）

2：L2（小学校中学年：3～4年生）

3：L3（小学校高学年：5～6年生）

4：L4（中学校（高等学校を含む場合もある））

5：L5（高等学校）

この表は、情報モラルの指導カリキュラムの内容を小中高一貫のモデルカリキュラムとして示したものです。このモデルカリキュラムの目標は、学校教育全体の中で達成していくことが望ましく、本モデルカリキュラムを参考にして、それぞれの学校では、地域の実情に合わせ、情報モラルのカリキュラムを組み立て、実施してください。

各目標の詳細は、Webページをご覧ください。<http://www.japet.or.jp/moral-guidebook/>

L4：中学校		L5：高等学校	
a4～5：情報社会への参画において、責任ある態度で臨み、義務を果たす			
a4-1：情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する		a5-1：情報社会において、責任ある態度をとり、義務を果たす	
b4～5：情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重する			
b4-1：個人の権利（人格権、肖像権など）を尊重する		b5-1：個人の権利（人格権、肖像権など）を理解し、尊重する	
b4-2：著作権などの知的財産権を尊重する		b5-2：著作権などの知的財産権を理解し、尊重する	
c4：社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを知る		c5：情報に関する法律の内容を理解し、遵守する	
c4-1：違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない		c5-1：情報に関する法律の内容を積極的に理解し、適切に行動する	
c4-2：情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る		c5-2：情報社会の活動に関するルールや法律を理解し、適切に行動する	
c4-3：契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する		c5-3：契約の内容を正確に把握し、適切に行動する	
d4～5：危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する			
d4-1：安全性の面から、情報社会の特性を理解する		d5-1：情報社会の特性を意識しながら行動する	
d4-2：トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る		d5-2：トラブルに遭遇したとき、さまざまな方法で解決できる知識と技術を持つ	
e4～5：情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける			
e4-1：情報の信頼性を吟味できる		e5-1：情報の信頼性を吟味し、適切に対応できる	
e4-2：自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる		e5-2：自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる	
f4～5：自他の安全や健康を害するような行動を抑制できる			
f4-1：健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる		f5-1：健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる	
f4-2：自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる		f5-2：自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる	
g4～5：情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身につける			
g4-1：情報セキュリティの基礎的な知識を身につける		g5-1：情報セキュリティに関する基本的な知識を身につけ、適切な行動ができる	
h4～5：情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる			
h4-1：基礎的なセキュリティ対策が立てられる		h5-1：情報セキュリティに関し、事前対策・緊急対応・事後対策ができる	
i4～5：情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる			
i4-1：ネットワークの公共性を意識して行動する		i5-1：ネットワークの公共性を維持するために、主体的に行動する	

